



活動報告書

2021-2022

公益社団法人 NEXT VISION

この冊子はウェブサイトにてPDFファイルを公開しています。音声で聞いていただけますので下記よりご確認ください。
二次元コードはこちらです。



NEXT VISIONへのご支援をありがとうございます。

みなさまのご支援・ご協力に支えられ、活動を継続することができます。

これからもよろしくお願いいたします。

(五十音順・敬称略) 2022年9月30日現在

■賛助会員■

青木 勢津子	(アオキ セツコ)	小山 健一	(コヤマ ケンイチ)
赤井 愛	(アカイ アイ)	小山 哲矢	(コヤマ テツヤ)
阿川 毅	(アガワ ツヨシ)	齋藤 裕美	(サイトウ ヒロミ)
浅野 紀美江	(アサノ キミエ)	崎元 宏美	(サキモト ヒロミ)
荒本 秀一	(アラモト ヒデカズ)	佐渡 一成	(サド カズシゲ)
東瀨 啓	(アリハマ アキラ)	清水 久美	(シミズ クミ)
石子 智士	(イシコ サトシ)	杉田 啓之	(スギタ ヒロユキ)
石塚 隆之	(イシヅカ タカユキ)	鈴木 信吾	(スズキ シンゴ)
出原 恵美子	(イデハラ エミコ)	園 順一	(ソノ ジュンイチ)
伊藤 幸太郎	(イトウ コウタロウ)	高田 忍	(タカダ シノブ)
伊藤 節代	(イトウ セツヨ)	竹田 武夫	(タケダ タケオ)
伊藤 政文	(イトウ マサフミ)	辰巳 周平	(タツミ シュウヘイ)
井上 直樹	(イノウエ ナオキ)	田中 桂子	(タナカ ケイコ)
井本 清江	(イモト キョエ)	田中 幸二	(タナカ コウジ)
植木 麻理	(ウエキ マリ)	谷口 ミサエ	(タニグチ ミサエ)
上竹 あゆみ	(ウエタケ アユミ)	津田 孝司	(ツダ タカシ)
宇仁菅 一郎	(ウニスガ イチロウ)	手良西 萬里子	(テラニシ マリコ)
大蔵 克己	(オオクラ カツミ)	土佐 美佳	(トサ ミカ)
岡田 太丞	(オカダ タイスケ)	富田 喜一郎	(トミタ キイチロウ)
桂田 元太郎	(カツラダ ゲンタロウ)	中尾 郁子	(ナカオ イクコ)
金井 国利	(カナイ クニトシ)	長岡 保	(ナガオカ タモツ)
兼崎 暁美	(カネサキ アケミ)	中川 倫子	(ナカガワ ミチコ)
加納 猛彦	(カノウ タケヒコ)	西田 良一	(ニシダ リョウイチ)
茅場 達	(カヤバ トオル)	仁科 幸子	(ニシナ サチコ)
唐澤 剛	(カラサワ タケシ)	野瀬 昌幸	(ノセ マサユキ)
川口 尚子	(カワグチ ナオコ)	野々垣 美名子	(ノノガキ ミナコ)
川島 正隆	(カワシマ マサタカ)	濱田 節子	(ハマダ セツコ)
川真田 伸	(カワマタ シン)	人見 智子	(ヒトミ サトコ)
木村 郁夫	(キムラ イクオ)	平井 啓一	(ヒライ ケイイチ)
熊懷 敬	(クマダキ ケイ)	平井 威史	(ヒライ タケフミ)
越川 慎一	(コシカワ シンイチ)	福田 麻美	(フクダ アサミ)
小寺 佑花	(コデラ ユカ)	福田 みほ	(フクダ ミホ)

藤本 恵子	(フジモト ケイコ)	三宅 るみ子	(ミヤケ ルミコ)
藤原 守雄	(フジワラ モリオ)	宮路 幸人	(ミヤジ ユキヒト)
干谷 貴之	(ホシタニ タカユキ)	村井 薫	(ムライ カオル)
前川 喜美恵	(マエカワ キミエ)	村瀬 友救	(ムラセ トモヤス)
前川 有紀	(マエカワ ユキ)	安井 利恵子	(ヤスイ リエコ)
松島 伸浩	(マツシマ ノブヒロ)	山下 秀明	(ヤマシタ ヒデアキ)
松村 美代	(マツムラ ミヨ)	山田 久美	(ヤマダ ヒサミ)
丸山 亜実	(マルヤマ アミ)	吉田 沙矢香	(ヨシダ サヤカ)
丸山 泰彦	(マルヤマ ヤスヒコ)	吉野 由美子	(ヨシノ ユミコ)
三浦 幸枝	(ミウラ ユキエ)	吉本 領	(ヨシモト オサム)

医療法人 誉祐会	(イリョウハウジン ヨシユウカイ)
大崎工業株式会社	(オオサキコウギョウカブシキガイシャ)
株式会社神戸ポートピアホテル	(カブシキガイシャコウベポートピアホテル)
株式会社システムギアビジョン	(カブシキガイシャシステムギアビジョン)
株式会社東京メガネ神戸店	(カブシキガイシャトウキョウメガネコウベテン)
株式会社日立製作所	(カブシキガイシャヒタチセイサクショ)
株式会社プライムアシスタンス	(カブシキガイシャプライムアシスタンス)
公益社団法人日本網膜色素変性症協会	(コウエキシャダンハウジンニホンモウマクシキソヘンセイショウキョウカイ)
河野医科器械株式会社	(コウノイカキカイカブシキガイシャ)
ダイダン株式会社	(ダイダンカブシキガイシャ)
ノバルティスファーマ株式会社	(ノバルティスファーマカブシキガイシャ)
バイエル薬品株式会社	(バイエルヤクヒンカブシキガイシャ)
和研薬株式会社	(ワケンヤクカブシキガイシャ)

■寄附■

浅田 一憲	(アサダ カズノリ)	高橋 淳	(タカハシ ジュン)
安藤 伸朗	(アンドウ ノブロウ)	田中 桂子	(タナカ ケイコ)
飯野 初生	(イイノ ハツオ)	津坂 洋子	(ツサカ ヒロコ)
稲垣 千代子	(イナガキ チヨコ)	中井 正憲	(ナカイ マサノリ)
一枝 Lowenstein	(カズエ ローエンスタイン)	平見 恭彦	(ヒラミ ヤスヒコ)
加藤 浩子	(カトウ ヒロコ)	福田 みほ	(フクダ ミホ)
川端 輝彦	(カワバタ テルヒコ)	前川 喜美恵	(マエカワ キミエ)
北地 達明	(キタチ タツアキ)	万代 道子	(マンダイ ミチコ)
栗和田 栄一	(クリワダ エイチ)	森澤 紳勝	(モリサワ シンカツ)
鈴木 一俊	(スズキ カズトシ)	守本 典子	(モリモト ノリコ)
鈴木 信吾	(スズキ シンゴ)	山下 秀明	(ヤマシタ ヒデアキ)
園 順一	(ソノ ジュンイチ)		

医療法人湘山会 眼科三宅病院

(イリヨウハウジンショウザンカイ ガンカミヤケビョウイン)

会員制サロン クラシカ (カイインセイサロン クラシカ)

篠原電機株式会社 (シノハラデンキカブシキガイシャ)

ショパニストアーツ (ショパニストアーツ)

住友ファーマ株式会社 (スミトモファーマカブシキガイシャ)

第21回日本ロービジョン学会学術総会

(ダイニジュウイッカニホンロービジョンガッカイガクジュツソウカイ)

谷眼科医院 谷恵美子 (タニガンカイイン タニエミコ)

ハルズベーカリー (ハルズベーカリー)

網膜色素変性症の患者と家族の会

(モウマクシキソヘンセイショウノカンジャトカゾクノカイ)

ラジオ大阪 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

(ラジオオオサカ ラジオ・チャリティ・ミュージックソン)

■パートナー■

Platinum シスメックス株式会社 (シスメックスカブシキガイシャ)

Bronze ViXion株式会社 (ヴィクシオンカブシキガイシャ)

参天製薬株式会社 (サンテンセイヤクカブシキガイシャ)

■助成■

日本財団 (ニッポンザイダン)

■代表理事ごあいさつ■



公益社団法人NEXT VISION
代表理事 三宅養三

神戸アイセンター5周年を迎えるに当たり、その中の公益社団法人NEXT VISION（NV）を代表して、お世話になりました関係各位に御礼申し上げます。2021年と2022年とは、いずれもコロナ禍の時代で、対面の業務が著しく制限されました。しかし視覚障害を持つ方々との情報伝達は視覚を必要とする情報交換とは異なり、比較的制限されることが少なかったようにも思えます。そのため視覚情報を必要としない活動はこれまで通り進み、一定の成果を上げることができました。

NVの設立の心は視覚障害者の日常生活、就労などの社会参加活動等に対する様々な支援、機能向上・回復のためのリハビリテーションを含む技術開発、更に眼科領域における調査・研究を行うことで、これによりすべての視覚障害者の福祉向上と科学技術の発展に寄与することです。そのためには多くの資金が必要ですが、ご寄付（ふるさと納税も含む）、賛助会員の皆様からの会費、企業パートナーからの協賛金等により賄っており、ご協力いただきました各位に厚く御礼申し上げます。

このように重要で多くの理解者、医療関係者、企業、それに行政のご協力を得て国家的レベルで推進しなければならないプロジェクトには多大な資金が必要です。しかしこの分野の医療報酬は非常に低く、一般医療関係者の価値観が今ひとつ盛り上がらないのが現状です。学会や政府に働きかけ、その重要性を認知していただくため、説得力の有る資料（データ）が必要となり、これもNVの最も重要な仕事のひとつと理解しております。

NVのVision Parkを核として神戸アイセンターを訪れる重症の視覚障害者に対する直接の医療提供・相談に加え、iseel運動や種々のプロジェクトを駆使した多方面にわたる活動を視覚障害者、病院、研究所、企業等が一体となって目標に向かって邁進いたしましょう。

■令和3年度事業報告書■（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1. 視覚障害者に対する直接支援事業（公益目的事業①）

（1）当事者向け講座、セミナー事業

遠隔で当事者、家族、支援者への情報提供を行い、地域性による情報格差を軽減し、全国の情報障害者を減らします。

1）ビジョンパークチャンネル

登録者数：502人

●iPhone・iPad活用ラウンジをオンラインで開催し、動画をビジョンパークチャンネルに公開しました。

（開催日・ゲスト名・オンライン参加人数・内容）

2021/4/26 ゲスト：山賀信行さん 参加者152名

ゲストは、スクリーンリーダーユーザーがとても便利に利用しているホームページ「やまさんの森」を開発し運営管理されている山賀信行さん。

現在、NPO法人スラッシュの副理事長として視覚障害者にICT機器の操作方法を指導されています。若手視覚障害者を奨励するチャレンジ賞を2019年に受賞され、大変ご活躍されています。今回のお話では、ホームページ「やまさんの森」やツイッターを利用するアプリ「スイートツイート」のプログラム開発の経緯から、折り紙の点訳本プロジェクト、ゲームのことなど元気の出るお話を聞くことができました。

2021/5/15 ゲスト：相羽大輔さん 参加者80名

ゲストは、愛知教育大学の相羽大輔さん。

ロービジョンの当事者であり、特別支援学校の教員養成に関わっておられます。

ゲームを通して、見え方に応じた工夫やアクセシビリティの機能について紹介いただきました。教育的意義やゲームの可能性など気づきの多いお話でした。

2021/6/28 ゲスト：若宮正子さん 参加者125名

若宮正子さんは昨年12月に続き2度目のゲストとしてお迎えしました。

世界最高齢のアプリ開発者として有名ですが、今回は「hinadan」や「nanakusa」のゲーム開発のお話から最近楽しんでおられるゲームやVRまで生き生きと輝いておられるお話でした。

Apple CEOのティム・クックとのやり取りの興味深い内容や記憶力の衰えに悩んでいる方に役立つ情報など盛りだくさんでした。

2021/7/31 ゲスト：中根雅文さん 参加者134名

中根雅文さんは現在、freee株式会社でソフトウェアエンジニアとして御活躍です。

1998年から3年間、慶応大学大学院在籍中にWorld Wide Web Consortium (W3C)のスタッフとしてWebアクセシビリティの基盤作りに関わりました。

今回のお話では、記憶力の衰えを補うためのワンドライブやGoogleのサービスの活用についてお話しいただきました。また、新型の暗所視支援メガネの紹介もありました。

2021/8/23 ゲスト：白井崇陽さん 参加132名

白井崇陽（しらいたかあき）さんは、バイオリニストであり、チューバーやラジオのパーソナリティとしてもご活躍です。

今回のお話では、3歳ではしかで失明し、プロのバイオリニストとなられるまでの人生、ゲームとの出会いから広がる可能性、全盲者の動画配信の技まで多彩なお話がお聞きできました。

2021/9/18 ゲスト：野澤幸男さん 参加者124名

野澤幸男（のざわゆきお）さんは、2年前に慶応義塾大学を卒業後、freee株式会社に入社し、プログラマーとして活躍されています。

3歳で失明し、10歳からゲームのプログラムを作り始め、ゲームクリエイターとしても活躍されています。「Audio Game Center」という音で楽しめるゲームをメディア芸術祭に出展し注目されました。

猫をこよなく愛している野澤さん。盲学校でのゲームとの出会い。生きる力を育てた母親とのエピソードなどお聞きすることができました。

2021/10/25 参加者111名

公益社団法人NEXT VISIONの情報マスターの和田浩一が、視覚障害とICTの歴史と最近関心を持っている移動支援機器の話題をお話しました。

2021/11/22 ゲスト：望月 優さん 参加者121名

株式会社アメディア 代表取締役社長の望月優さんをゲストとしてお迎えし、視覚障害者の情報と移動の課題を解決するためにテクノロジーや情報発信、移動のためのコミュニティづくりに取り組まれているお話をお聞きしました。

2021/12/27 ゲスト：井上直也さん 参加者95名

質問コーナーでおなじみの井上直也さんにSNSの活用と題して、お話をさせていただきました。SNSの歴史からTwitter、Facebook、Clubhouseなどの特徴や楽しみ方を紹介させていただきました。

2022/1/29 ゲスト：伊敷政英さん 参加者153名

isee! Working Awards 2018の就労事例部門でMETP賞を受賞されている伊敷政英（いしきまさひで）さんをゲストとしてお迎えしました。視覚障害で情報障害と言わせないとの信念を持って取り組まれています。

当事者性と専門性を生かして誰もが利用できるウェブアクセシビリティをデジタル庁の非常勤職員として推進されています。

2022/2/28 ゲスト：外谷 渉さん 参加者122名

ゲストは、第1回isee! Working Awardsの受賞者である外谷渉（そとやしょう）さんをお迎えしました。

外谷さんは全盲のシステムエンジニアとして情報セキュリティの株式会社ラックでご活躍されています。コンピュータープログラマーを目指して現在の職場に就職されるまでの経緯や就職後の働き方などのお話をさせていただきました。

2022/3/28 ゲスト：松本一寛さん 参加者133名

ゲストは、YouTubeの「ニポラチャンネル」でおなじみの日本ライトハウス エンジョイ！グッズサロンの松本一寛さんをお迎えしました。

松本さんはパソコンが得意でなかったそうですが、失明後にできなくなったとあきらめかけていたことが読み上げ機能のあるらくらくフォンが使えるようになり、目標を見出し、現在の職場に就職して活躍されるようになりました。失明して新たな出発を応援してもらった人たちとのつながりとICT機器の活用についてお話を聞きました。

（総評）

コロナ禍ではリアルイベントの開催や対面での情報収集・提供が困難となりましたがコロナ禍だからこそ、視覚に障害のある方が必要とされる情報をお届けする必要があると考え、ビジョンパークでの現地開催からzoomを使ったオンライン開催へと変更し、オンライン参加できない方がいつでも視聴できるよう、ビジョンパークチャンネルで動画を公開しました。

参加申込は200名を超えることもあり、当日は参加できなくても後日アーカイブを視聴することを目的に申し込まれた方が多かったことは想定外でしたが、本事業によりいつでも、どこからでも、何回でも視聴したいという要望にお応えできたことは良かったと思います。

居住する地域を問わない情報処方を行うことができ、スペシャルゲストによる情報提供だけでなく、さらに、参加者の個別の質問に答えるコーナーを増設し、お一人お一人のニーズに合った情報提供及びテクノロジー支援を行うことができました。

参加者は視覚障害者だけでなく、支援者やご家族も含まれていたことから、今後は医療従事者や教育関係者も含めてより多くの方に、情報提供およびロービジョンケアに関する理解を広めるために、得られた運営・開催方法に関する知見を活かして本事業を継続したいと考えます。

2) 研修

●NEXT VISIONセミナー

2021/12/16 網膜再生医療の進展（医療従事者向け）

講師：高橋政代 参加者：58名

2021/12/18 網膜再生医療の進展（一般向け）

講師：高橋政代 参加者：197名

●企業向けセミナー

新型コロナ感染拡大の影響で開催できませんでした。

●研修見学

①対話力研修 Project Meme of Patch Adams

対象：神戸市民病院機構職員

2021/7/28 Patchが伝える医療者のあり方とは

2021/8/25 豊かな人生を生きるための対話力

2021/9/22 自分を知るためのメタ認知：客観と俯瞰の違い

2021/10/6 自律と心理的安全性が高まる3つの声かけ

2021/11/24 多様性理解と配慮のあり方

2021/12/22 叱る、褒めるをやめるべき理由

2022/1/26 効率的な質問力を上げる方法

2022/2/16 リーダーの資質と雑談力

②大阪医療福祉専門学校講義

2021/8/24 対象：視能訓練士学科学生

●「私見え方・見えにくさ」伝え方講座

本講座は対面での講習となり、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

●寄り添い方講座

本講座は対面での講習となり、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

（総評）

新型コロナ感染拡大対策のためビジョンパークにおけるセミナー開催は困難と判断し、オンラインでの開催となりました。網膜再生医療に関する講演は医療従事者だけでなく、患者さんからも関心の高いテーマであり、医療従事者向け、一般向けともに全国から参加がありました。

対面によるセミナーも魅力はありますが、参加者の利便性を考えると新型コロナに関係なく、今後もオンラインによるセミナー開催は継続する価値があり、今後はハイブリッド開催を検討したいと考えます。

また、コロナ禍で疲弊している医療従事者に対して、ウェルビーイングをテーマにしたセミナーを1年を通して開催することで、モチベーションのアップと心理的サポートを行うことができました。

コロナ禍で実習ができない視能訓練士を目指す学生に対しては、オンラインで講義を行うことで、卒業後の実践に必要な知識の習得につながったと考えます。

このようにコロナ禍であってもさまざまな立場で人々が必要とする情報や知識は変わらず存在し、コロナ禍だからこそ適時の情報提供が必要であると考えられることから、次年度以降も必要とされるセミナーの開催を行う予定です。

（2）当事者向け体験事業

見えない・見えにくい方を対象として、スポーツや映画鑑賞など様々な文化体験をしてもらい、晴眼者と同じように趣味や生きがいを見つけて社会生活を楽しむ機会を設けることで、見えない・見えにくい方の社会復帰、社会の戦力化を支援する活動等を行います。

1) eスポーツ G-1グランプリ

ゲームのアクセシビリティ（障害者補助機能）機能の紹介や、ツール活用などの工夫・アイデアを共有し、娯楽の教育的意義を考えるイベントを実施しました。

2021/5/15 第1回 参加者：52名（うちエントリー：10名）

（賞名・受賞者名）

グランプリ作品賞	ハルト（久野陽翔さん）
	アキラ（熊澤 明さん）
	いぐぴー（井口美優さん）

2022/2/5 第2回 参加者：47名（うちエントリー：16名）

（賞名・受賞者名）

グランプリ作品賞	MM（松尾政輝さん）
エドューケーター作品賞	つか君&さら先生（大久保咲来さん、加藤束悠さん）
キッズ作品賞	あやか（西尾彩花さん）
特別作品賞	Yoshida（吉田美世さん）

（総評）

社会処方の一環として、ゲームを通したコミュニケーションや社会参加を支援する企画で、視覚障害者や肢体不自由の当事者たちによるアイデア集を共有することに始まり、ゲームが持つ社会性や教育効果について当事者である教育者や当事者とゲームのアクセシビリティ機能の現状や今後の期待などを3時間に渡り対話しました。

本企画を通して、ゲームによる障害種別を超えたコミュニケーション活性化や社会的接続強化といった社会的意義や効果について確かな手応えを感じており、今後社会的処方箋としてゲームの教育効果や社会的・心理的回復効果を検証していく予定です。

次年度もeスポーツの実施、ゲームアクセシビリティの知識処方を行い、障害種別を超えた参加者による、ゲームを通した対話文化の醸成を目指します。



2) クライミング

新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

（総評）

本年度はコロナに伴い実施することはできませんでしたが、コロナが落ち着くまでは開催は難しい状態は続くと考えます。コロナの収束をただ待つのではなく、ビジョンパークの象徴であるクライミングウォールを背景として今後も運動や趣味に関わる情報発信を行えればと思っています。

3) 体幹トレーニング ※オンライン開催

（開催日時・参加人数）

2021/4/30	参加者：42名	2021/10/15	参加者：35名
2021/5/28	参加者：46名	2021/11/19	参加者：39名
2021/6/18	参加者：56名	2021/12/17	参加者：37名
2021/7/16	参加者：34名	2022/1/28	参加者：40名
2021/8/20	参加者：44名	2022/2/18	参加者：30名
2021/9/17	参加者：38名	2022/3/10	参加者：43名

（総評）

見えない、見えにくい方だけでなく、コロナ禍では外出制限やリモートワークの増加により運動の機会が減りました。ビジョンパークにおいて体幹トレーニングを対面で実施することは難しくなりましたが、オンラインを活用し画面を通して、あるいは音声のみで運動を行っていただくことができました。

床に座って行うだけでなく、イスに座ったままできるので、ご自宅だけでなくオフィスや病院の待合室など外出先からの参加者もありました。体幹トレーニングがコロナ禍に健康維持・管理に役立ったことは参加者からの感想や参加人数の増加と安定からわかります。今後も場所を問わず、年齢や性別に関係なく、どなたでも短時間（30分）で行える体幹トレーニングは心と体の健康維持・増進の役割を担っていきます。

4) チャレンジド・ヨガ（オンライン無料体験会）

2021/9/30 椅子ヨガ30分+サットサンガ（お話し会）参加者：35名

（総評）

コロナ禍における運動不足の解消およびお話しする交流の機会のニーズが高まったことからチャレンジド・ヨガの協力を得て、オンラインで体験会を開催しました。ヨガ未経験者も外出することなく自宅で気軽に楽しめました。

また、お話しする機会が減った視覚障害のある方に「サットサンガ」が好評でした。

（3）カウンセリング事業

見えない・見えにくい方の生活を多角的に支援するため、見えない・見えにくい方を対象とした座談会・相談会を開催し、社会資源の活用方法や補助具等に関する各種情報提供し、患者同士のコミュニケーションの場の提供等に取り組みました。

1) ロービジョンの集い

見えない・見えにくい当事者を中心にご家族や支援の専門家などが集まり、日常生活での困りごとや情報の共有を行うほか、誰もが気軽に相談ができる場を提供しました。

開催方法：オンライン

対象：視覚障害者、一般 全10回の総参加者数：321名

（開催日、タイトル、参加人数）

2021/4/24

第100回「カミングアウトしてみる〜？」 参加者：190名

2021/5/25

第101回「こころとからだの健康を考える集い」 参加者：6名

2021/6/15

第102回「ゆったりほっこり。心がゆるむタクティールケア」 参加者：69名

2021/7/27

第103回「将来の夢や進路を考える集い」 参加者：7名

2021/8/20

第104回「映画館と自宅で観れる、聴ける！みんなが楽しめる映画のカタチ。」 参加者：57名

2021/9/28

第105「家事や趣味を楽しむ集い」 参加者：6名

2021/10/23

第106回 ロービジョンの集い「辰巳先生、障害年金申請のポイントを
教えて！」 参加者：170名

2021/11/30

第107回「人生を語り楽しむ集い」 参加者：4名

2021/12/23

第108回 ロービジョンの集い「小林幸一郎さんが挑み続ける 世界の壁、
岩、そして未来！」 参加者：62名

2022/1/25

第109回「見えない、見えにくい子どもさんを持つ親の集い」 参加者：2名

2022/2/26

第110回 ロービジョンの集い「遺伝（いでん）ってなに？遺伝子検査は
受けた方がいいの？」 参加者：159名

2022/3/29

第111回「仕事や家族のことを考える集い」 参加者：5名

（総評）

コロナ禍でビジョンパークでの開催ができなくなり、2020年に引き続きオンラインにて開催しました。ビジョンパークで開催していた時には定員が10名ということもあり、参加人数が10から15名程度でしたが、オンラインに切り替えたことで参加者が増え、人数だけでなく参加者の居住地も北海道から沖縄まで全国に広がりました。

また、ロービジョンの集いは視覚障害者だけでなくその家族や友人知人が参加することが多かったのですが、就労している世代の参加は少ないのが課題でした。しかし、オンラインに切り替えたことで、職場からあるいは空き時間に参加が可能となり、「耳だけ参加」という聞くだけの参加者が出てきました。

オンライン開催となり、参加者が増えたことで本来の目的である生活での困りごとや悩みを誰もが気軽に相談ができるという雰囲気は失われてしまう可能性があったことから、奇数月は参加者を限定し、オンラインであっても話しやすい環境を作り、心理的安全性を担保しました。

コロナ禍では視覚に障害があるからこそ知りたい情報、社会の変化などテレビやラジオからは得られない情報があり、自宅や職場に居ながらにして必要な情報を得られたと喜ばれました。

2) 相談コーナーの運営

神戸アイセンターでは、「神戸アイセンター病院×ビジョンパーク連携カード」という連携カードによって神戸アイセンター病院の医師や視能訓練士、看護師などがロービジョンに関する情報提供が必要と感じたときに連携カードを発行する取り組みを行っています。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、対面による相談だけでなく、オンラインを活用した相談を行いました。

(单位:件)

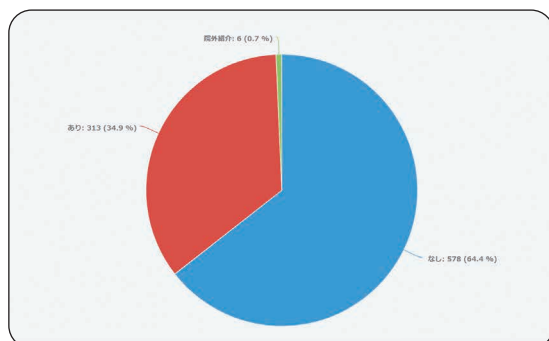
2021										2022			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カードあり	26	24	29	27	17	25	25	23	32	23	31	27	309
カードなし	31	36	50	48	38	45	47	78	73	55	37	49	587
計	57	60	79	75	55	70	72	101	105	78	68	76	896

今年度の相談件数は、連携カードありの相談が309件、連携カードなしの相談が587件、合計896件となりました。（表1）

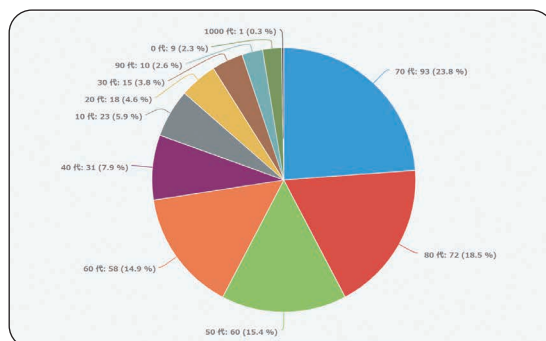
去年は連携カードありの相談が159件、連携カードなしの相談が314件、合計473件だったので2倍近い相談件数となりました。

また、連携カードなしの相談には近隣の病院・クリニックからの紹介6件が含まれていました。（図1）

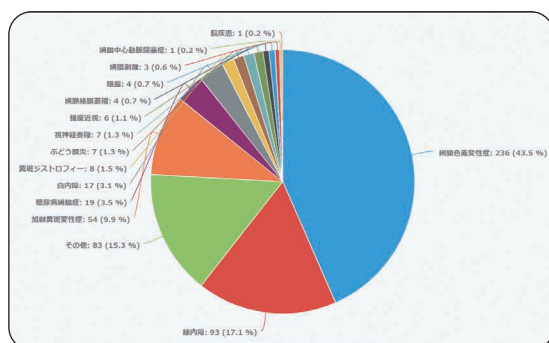
対応した相談者の年齢（図2）、疾患（図3）、相談内容（図4）、ご紹介する支援機器や用具（図5）、紹介した支援機関・団体（図6）は多岐に渡りますので図を参考にしてください。



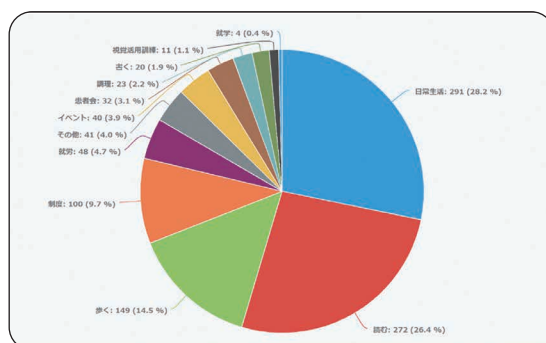
(図1) 連携カード有無による相談件数(割合)



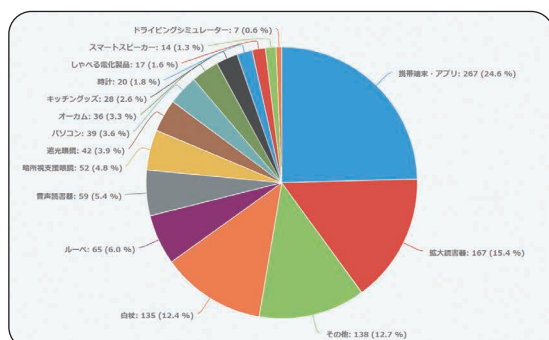
(図2) 相談者の年代(割合)



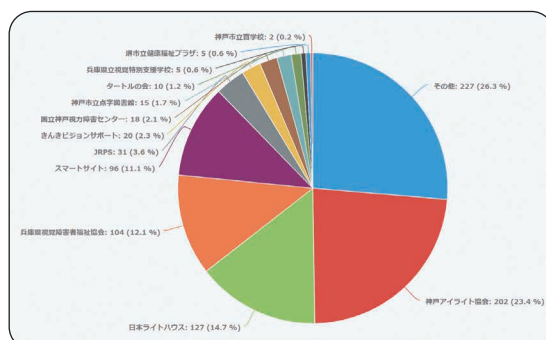
(図3) 相談者の疾患名 (割合)



(図4) 相談内容 (割合)



(図5) 紹介した支援機器・用具 (割合)



(図6) 紹介した支援機関・団体(割合)

他機関・団体による相談コーナーの運営に当たっては、今年度は22の団体・機関にご協力いただき、対面とオンラインによる相談コーナー開設し、合計207回開催しました（表2）。

相談コーナー開設を予定していながらもまん延防止等重点措置により対面での相談が実施できず、また、オンライン対応にも切り替えられないことから6つの機関・団体がやむを得ず休止となったことで開設回数が0件となっています。

全体的には、相談コーナーの開設回数は前年の148件から71%増の207回となっており、対面だけでなく、電話を含むオンラインでの相談を行う機関が増えたことが理由と考えます。

団体名	実施回数
FQjapan(e-Sight体験)	0
Gラウンジ(iPhone/iPad相談)	0
アイ・コラボレーション神戸(AIスピーカー相談)	2
大阪府立大阪北見視覚支援学校	0
きららの会(若年層の生活・就労相談)	1
きんきビジョンサポート(生活・就労相談)	6
神戸アイライト協会(生活・就労相談)	9
神戸市立点字図書館(生活相談・サピエ体験)	3
神戸市立盲学校(教育・就労相談)	17
神戸視力障害センター(生活・就労相談)	7
システムギアビジョン(拡大読書器体験)	5
堺市立健康福祉プラザ(生活相談)	5
視覚障害者就労相談人材バンク相談	26
障害者就労移行支援事業所サンヴィレッジ(就労相談)	0
日本ライトハウスリハビリテーションセンター(生活・就労相談)	0
日本ライトハウス情報文化センター(生活相談・サピエ体験)	23
兵庫県立視覚障害者福祉協会(生活・就労相談)	46
養護県立視覚特別支援学校(教育・就労相談)	7
兵庫県立点字図書館	0
兵庫盲ろう者友の会(生活相談)	3
網膜色素変性症協会(生活とピアサポート)	47
合 計	207

また、今年度は日本財団様の助成金により、オンラインによるテクノロジー支援事業を行いました。

コロナ禍においては見えない、見えにくい方の外出はより一層困難となり、さらに非接触、人が集まることによる密をさけることからリモートが推奨されました。デジタル化の流れの中で必要な情報を受け取るためにデジタルデバイスを使いこなすことが必要となり、これまでデジタルデバイスを使いこなせていなかった見えない、見えにくい方が社会生活を送ること、必要な情報を得ることが困難な状況となっていました。

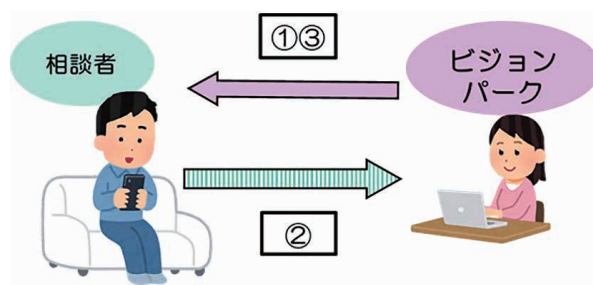
そこで、私たちは見えない、見えにくい方へオンラインによるテクノロジー支援として2つの支援サービスを提供しました。

■iPad貸し出し

iPadを10台準備し、見えない、見えにくい方にとって便利で必要となるであろうアプリを事前にインストールしておき、手にしたときからすぐに使用できる状態で貸し出すことでデジタルデバイスへの抵抗感・不安感を軽減しました。

また、自宅や使用する場所にWi-Fi等がなくてもいつでもどこでも使用できるよう通信付きにしたことで、設定のわずらわしさを解消し、使ってみたいと思えるよう心理的サポートを行いました。

- ① ニーズ・要望等の聞き取り、iPad貸し出し
- ② iPadを返却
- ③ サポート終了後の感想等聞き取りと支援機関等への誘導

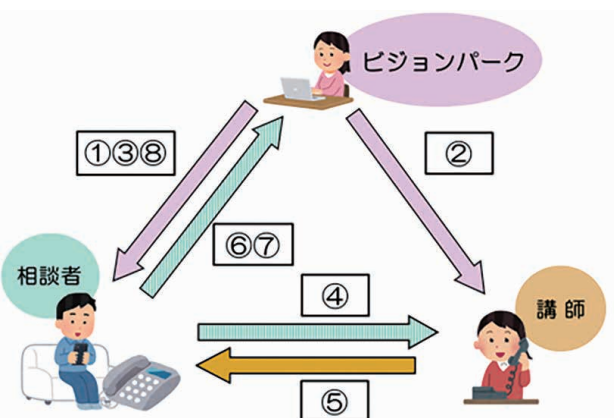


■電話によるテクノロジー支援

デジタルデバイス(iPad)はすぐに使える状況であったとはいえ、初心者には使い方がわからないあるいはわかりにくいいため、講師による電話での講習を行いました。講師は見えないあるいは見えにくい障害を持っており、ご自身が普段からデジタルデバイスを使用されているので声だけによるサポートが可能で、利用者の困りごとに共感できるなど利点がありました。

iPad貸し出しおよび電話によるテクノロジー支援はいずれも無料で、約1か月間を目安に体験していただき、その間にお住いの地域の視覚障害者支援施設等へ誘導し、引き続き必要な支援を継続していただけるようサポートを行いました。

- ① 相談者のニーズ・要望聞き取り、iPad貸出
- ② 講師日程調整、相談者のニーズ・要望申し送り
- ③ 相談者へ講習日程、講師の名前、電話番号等を連絡
- ④ 相談者は講師に電話、受講
- ⑤ 次回の講習が必要な場合は日程調整
- ⑥ 相談者は次回講習日程と感想・要望などをNEXT VISIONに報告
- ⑦ iPadを借りている場合は終了後に返却



iPadの貸し出しは53件（表3）、外部講師が対応した電話によるテクノロジー支援は111件（表4）、当法人スタッフが対応した電話によるテクノロジー支援は306件（表5）でした。

2021年

2022年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	6	8	5	6	3	5	3	4	5	2	4	53

（表3）iPad貸し出し件数 （単位：件）

2021年

2022年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	8	22	10	5	10	14	5	7	9	9	9	111

（表4）電話によるテクノロジー支援（外部講師対応）（単位：件）

2021年

2022年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18	24	29	32	20	32	23	26	36	19	21	26	306

（表5）テクノロジー支援（当法人スタッフ対応）（単位：件）

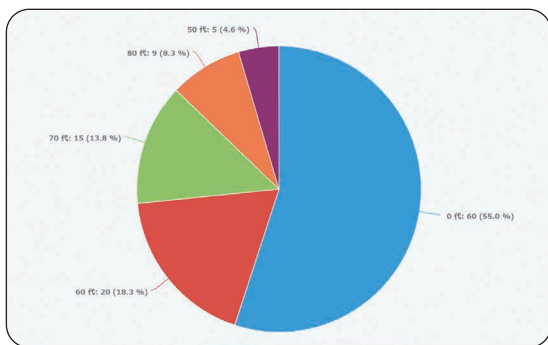
テクノロジー支援受講者の年齢は60歳代、70歳代が多くなっていますが、60歳未満が全体の55%を占めており、年代に関係なく見えない・見えにくい方はサポートを必要としていることがわかりました。（図7）

また、使用するデジタルデバイスはiPadが最も多く61件で、低視力の方は文字を拡大してみることができるので画面の大きなiPadを好まれること、また、iPadの貸し出しがあったのでデバイスをお持ちでない方もiPadを使用する機会が持てたのだと考えます。（図8）

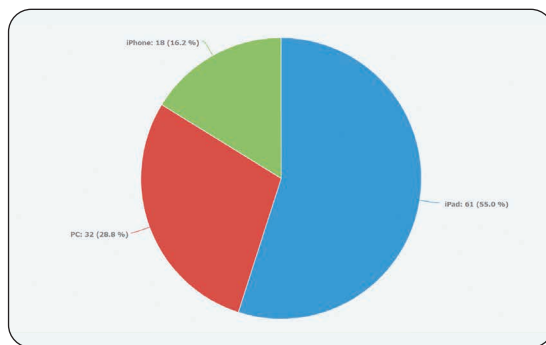
受講された方の満足度は満足とやや満足が76件で多くの方に喜ばれている反面、わからないが31件あったことについて相談者に話を聞いてみると使いこなせるという自信につながるまでに時間を要する、操作が難しいという理由があげられ、短期間でのテクノロジー支援だけでは満足度をあげられないことがわかりました。（図9）

当初、テクノロジー支援は視覚に障害のある専門講師に任せる予定でしたが、支援を必要とする方は即時の対応を求めることが多く、運営側も講師の日程調整も個別に連絡する必要があり時間を要することが多かったことから、結果的に当法人スタッフがテクノロジー支援を実施するケースが増えました。

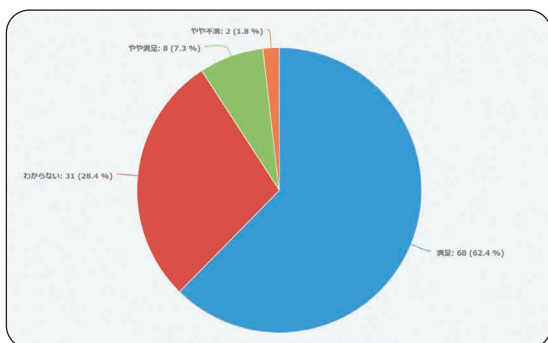
2021年度に当法人スタッフが行ったテクノロジー支援306件のうち、iPadやiPhoneといったデジタルデバイスに関するサポートが最も多く267件、パソコンに関するサポートが39件でした。（図10）



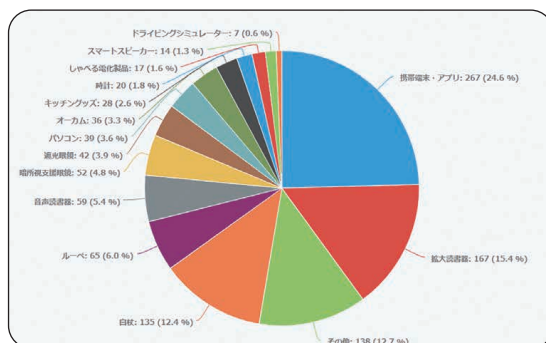
(図7) テクノロジー支援受講者の年齢 (割合)



(図8) 使用するデバイス (割合)



(図9) 受講者の満足度 (割合)



(図10) 当法人スタッフが行った支援内容

(総評)

相談件数および他機関による相談コーナー開設数が前年度と比較すると増えたのはオンライン対応による成果だと考えます。新型コロナウイルス感染対策に左右されず、安定的に相談を実施できるので、今後も継続していく予定です。

今後も継続が必要となる新型コロナウイルス感染拡大対策だけでなく、地震や台風などの自然災害時にも活用できるオンライン相談は遠隔診療にも応用できる可能性があります。神戸アイセンターが打ち出している目のワンストップセンターとしての機能を持続させるためには、オンラインの活用が有効かつ必要不可欠であり、研究・治療だけでなく、ロービジョンケアが医療従事者にとってハードルの高い、難しいものであっては普及しません。いちばん重要なのはロービジョンケアが必要な患者に、必要な時につながることで、同時に医療従事者が無理をせずに行えることです。

そこで、このオンラインを活用した相談システムの取り組みについては視覚障害リハビリテーション研究発表大会（2021年8月12日から9月12日、WEB開催）において発表し、治療・研究と同様に必要となるロービジョンケアの重要性をお伝えしました。

国が推奨するデジタル化の中で、自宅や職場に居ながらにして得られる情報や受けられるサービスが増えています。しかし、見えない、見えにくいという視覚に障害のある方にとって、コロナ禍においてはその恩恵を受けられないという実態が浮彫になったとも言えます。

視覚に障害があるからこそ知りたい情報、必要となる支援があり、今回私たちが行ったiPad貸し出しと電話によるテクノロジー支援はデジタルとアナログ、デジタルデバイスと人の力を融合した画期的な支援だったのではないかと考えます。

特に支援施設が少ないあるいは全くない地域、支援者の少ないあるいは全くいない、支援の行き届いていない方からは自宅や職場に居ながらにして情報を得られ、講習を受けられたことが喜ばれ、コロナ禍やお住いの地域に関係なく、最新のデバイスの情報などを滞ることなくお伝えできました。

また、受講者だけでなく講習を行った視覚に障害のある講師もまた新たな役割を担ったことでエンパワメントされ、視覚に障害があるからこそ講師として活躍することができ、さらに報酬を得ることができる就労につながったことが喜ばれました。

受講者からは晴眼の講師がいいというご要望もいただきましたが、多くの方は同じ境遇の講師から講習を受けたことで悩みを共有できた、見えていなくても説明がわかりやすかったという感想をいただいております、双方にとってよい活動になったと考えています。

今後はiPadの無料貸し出しは継続しますが、電話によるテクノロジー支援については有料化するなど、事業として継続する方法を検討したいと思います。また、先に述べたように、晴眼の講師を希望される方もいることから、さまざまなタイプの講師をそろえる必要があるとわかりました。

また、本事業の継続に当たっては相談受付方法・日程調整などを簡便なシステムを構築し、いつでも、どこでも、簡単に支援を受けられるようにすることも今後の検討事項としたいと考えます。

3) 遠隔相談

一般眼科に通院する視覚障害者に対してテレビ電話を介して情報提供に取り組みです。本事業は、理事の仲泊が2017年度～2020年度に行なったAMED研究の一般事業化です。全国の高額寄附者の所属する眼科医療機関に呼びかけ神戸市のふるさと納税の活用を企画しました。

(総評)

コロナ禍で培った通信技術を用いて実践可能性は高まりましたが、ふるさと納税の活用に関しての批判もあり、価格設定が決定できず本年度における実施には至りませんでした。この間、オンライン診療の法整備が進み、別事業を企画しています。

(4) 研究開発事業

情報化社会が進む中で見えない・見えにくい方の生活・就労支援に寄与する最新テクノロジーに関する研究開発を行い、その成果を社会還元することにより、見えない・見えにくい方の社会復帰・社会戦力化支援に資することを目的としています。

1)ロービジョン者の運転に対する自動運転自動ブレーキの事故防止効果の研究

視野障害により、運転免許を更新可能であっても危険を伴う方が安心して運転を継続できるようなシステムを開発するために、ビジョンパークのシミュレーションエリアに常設するドライビングシミュレーターを活用して、運転体験のサポートを行いました。本事業では、トヨタモビリティ財団による研究助成を受け、株式会社ビジョンケア、井上眼科病院、筑波大学によって行われる共同研究に神戸アイセンター病院、新潟大学とともにこれに参加しました。

2)視覚ダイナミックレンジの疾患特性評価

東海光学との共同研究事業の継続として発案されていましたが、コロナ禍の経営引き締めを受け、実現できませんでした。

3)視覚障害者の転落事故低減を目的とする電子歩行補助具の路面環境

情報伝達法に関する研究

JR西日本あんしん社会財団の研究費助成金により九州工業大学石井研究室との共同研究で、2021年8月までの事業継続となっていたものです。本年度は、当初の白杖搭載型の赤外線センサーをiPhone12のLiderセンサーに置き換え、Apple Watchの振動機能を活用して、より一般的なアプリの開発を目指しました。白杖先端のさらに約50cm前方に落ち込みがある場合だけ振動するように設定することにより、ホーム転落の危険を減少できるものと考えます。本事業は、令和4年度の同財団での同様の研究事業として再採択され、このアプリの有用性評価を実証しています。

4)眼精疲労に対するマッサージ療法の有効性に関する探索的研究

筑波技術大学近藤 宏講師・藤井亮輔名誉教授らとの共同研究で、藤井氏らの開発した眼精疲労に特化したマッサージ法による介入をビジョンパークにおいて行い、その効果判定のために介入前後の被験者情報の聞き取りを行う予定でしたが、研究費の獲得ができず中止となりました。

(総評)

研究開発事業としては、企業との共同研究契約に基づき、アカデミアとの連携のもと上記4種を企画しましたが、2)と4)については予算がつかず断念しました。1)は、神戸アイセンター病院運転外来をサポートするものでした。3)は、コロナ禍のため、被験者を用いた実験はできませんでしたが、デバイス開発に注力し、実用可能と思われるアプリを開発することができました。

2. 視覚障害者に対する間接支援事業（公益目的事業②）

（1）コンテスト事業

1）isee! “Working Awards”2022

今年で6回目となる「isee! “Working Awards”」は、「就労」に焦点をあて、視覚障害者（見えない、見えにくい人）がどのように働いているのか【事例】、また、どうすれば働けるのか、あるいはどんな働き方ができるか【アイデア】を募集しました。

応募された【事例】と【アイデア】を審査員に選んでいただき、広く社会に発信することで、視覚障害者の社会参加、就労、ひいては社会の戦力として働き、社会の損失を軽減させることを目的としています。

募集期間：2021年9月1日（水）～10月31日（日）

授賞式：2022年2月20日（日） 13:30～16:00

開催方法：オンライン

参加申込者数は152名で、当日の参加者数は129名（うち受賞者21名、審査員7名、スタッフ7名、一般参加者94名）でした。

本年の応募数は30件で、内訳は、事例部門が11件、アイデア部門が19件でした。事例部門及びアイデア部門ともに応募数が伸び悩みました。長期にわたるコロナ禍の影響が少なからず出ていると思われます。

審査の結果、事例部門の入賞が5件、事例部門の入選が4件でした。また、アイデア部門の入賞が5件、アイデア部門の入選が10件でした。

事例部門入賞（ 5 件）				
No	受賞者	種別	タイトル	受賞名
1	大和リース株式会社 人事部インクルージョン推進室	団体	『大和リースの思いやりハンドブック』 誰もがイキイキと活躍できる企業へ	MIP賞
2	小川 みぎ	個人	目が不自由でも自分で選んだ職に就こう！ 子ども達に囲まれて保育士15年目	MSP賞
3	Abdin Mohamed	個人	視覚障がい学生向けの就活ワークショップ	MSP賞
4	前北 奈津子	個人	悲しみ乗り越えて。フィールドは変わっても 対人支援のプロを目指し続ける！	MEP賞
5	タート ルICTサポート プロジェクト	団体	タート ルICTサポート プロジェクト 視覚障害があっても当たり前になる環境を	METP賞 日本眼科医会賞
事例部門入選（ 4 件）				
1	杉田 啓之	個人	どうして就労を継続できたのだろうか。－R P 患者としての企業人生36年－	入選
2	TZO48	団体	視力障害者が中心に運営する飲食業 TZO48（ TZOフォーティエイト ）	入選
3	日本コカ・コーラ株式会社 石黒 友子	団体	社内を超えて社会へ。視覚障害を持つ社員が自ら周囲を巻き込み、大きな周知活動に	入選
4	八巻 真哉	個人	ガム配りからの人生”医療、福祉、教育、接客から生まれたヒューマンエンジニア”	入選
アイデア部門入賞（ 5 件）				
No	受賞者	種別	タイトル	受賞名
1	小杉 舞奈菜	個人	「 視覚障害者ならではの」のデザイナー ～私も使いたくなる可愛いグッズ～	価値転換賞
2	滝浪 明莉	個人	ハンデを強みにインテリアデザイナー	価値転換賞
3	特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク (SPAN)	団体	無償での遠隔就労PCサポート の実施 公的支援が受けられない視覚障害者を支援	環境整備賞
4	VDKion株式会社・株式会社フレアス	団体	暗所視支援眼鏡MW100の活用により 考える マッサージ業界で視覚障害者の就業・生活改善	環境整備賞
5	資生堂ジャパン株式会社	団体	強みを生かす！視覚障がい者、活躍の場の拡大へ	ビジネスプラン賞 日本眼科医会賞
アイデア部門入選（ 10 件）				
1	山元 正史	個人	ピアサポート にて自己肯定感の相互アップと的確な合理的配慮を目指して	入選
2	青木隆一	個人	「 触る」ことを大切にできた視覚障害者の強みを生かした資格「触診師」	入選
3	野々垣美名子	個人	スクリーンリーダーNVDAの解説についての紙書籍の制作と配布	入選
4	上原晋	個人	点字で賞味期限やメッセージを付ける人材を	入選
5	横田 歩	個人	目が見えなくなっても心には寄り添える中途視覚障害者の臨床心理士	入選
6	米川 あみ	個人	目が見えなくても四感を生かして …食の仕事…	入選
7	前川 浩一	個人	NEXT VISION「 YouTube」チャンネルの開設	入選
8	大橋 正彦	個人	メディカルビジネスカウンセラー 医療と福祉の隙間を埋める先進的就労支援	入選
9	前川 浩一	個人	ロービジョンサポート用 折りたたみ式モバイルモニター	入選
10	神田 信	個人	マスコミ報道！ 視覚障害の日三連発！ 社会に啓発と当事者に勇気と希望を！	入選



（総評）

新型コロナウイルスの感染が3年目と長期にわたる影響もあると思われますが、応募数の伸び悩みとなりました。応募された事例とアイデアはそれぞれ審査員から高く評価されています。企業でのインクルーシブな取り組みが広がっており、応募内容は充実しています。なお一層、本アワードの募集の周知を図り応募数の増加となるよう努めたいと思います。そして、isee! 運動を推進し、見えなくなっても社会の一員として互いに活躍できる社会を目指して取り組みたいと思います。

今年の発表・授賞式は昨年に引き続き新型コロナウイルスのため、完全オンラインで実施しました。受賞者トークでの発表内容の紹介と審査員からの講評は、参加者から好評でした。感銘を受けたとか、勇気をいただいたという声が聞かれました。オンラインの利点で全国どこからでも参加ができたことは良かったと思います。受賞者同士の交流の機会が持てなかったことが残念に感じました。

受賞者の事例及びアイデアの内容については、公益社団法人NEXT VISIONのホームページで公開し、広く社会の人々に知っていただけるように情報発信をしています。授賞式での入賞者の発表動画も今年から掲載しました。

<https://nextvision.or.jp/prizewinner-2022/>

また、事例とアイデアの内容、審査員のコメントを冊子にまとめた就労事例・アイデア集を作成し、広く本事業の内容を周知させるため配布を行っています。

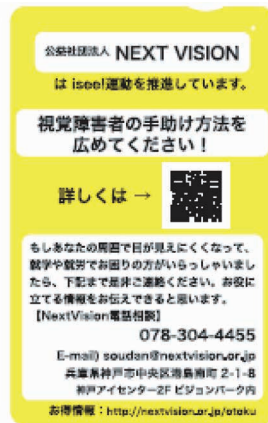
最後になりますが、本事業の実施に当たり、公益社団法人日本眼科医会の後援をいただき、日本眼科医会賞を選んでいただいたことに深く感謝申し上げます。

2) サンキューカードを使った周知啓発

見えない、見えにくい方の移動を多角的に支援するために正しいガイドの仕方を一般の方に周知するとともに、一人でも多く就労・就学で困っている視覚に障害のある方を見つけることを目的に配布しました。また、視覚に障害のある方を見つけ、必要な情報・支援につなげる活動を見えない、見えにくい視覚に障害のある方にお手伝いいただくことで活躍の場を広げる効果もあります。



おもて面



うら面

配布する地域は視覚障害者の活動地域となるため全国であり、昨年度に引き続き、下記団体等を通じて配布しました。

特定非営利活動法人タートル

社会福祉法人日本ライトハウス 情報文化センター

社会福祉法人日本ライトハウス リハビリテーションセンター

国立神戸視力障害センター

堺市健康福祉プラザ

兵庫県視覚障害者福祉協会

日本網膜色素変性症協会

日本視覚障害者団体連合

神戸市立盲学校

兵庫県立視覚特別支援学校

埼玉県立盲学校

岡山県立盲学校

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

神戸市立点字図書館

非営利活動法人神戸アイライト協会

HOYAビジョンケアカンパニー

株式会社システムギアビジョン

株式会社尼崎眼鏡院

HOT POTの会

三輪書店（「ポイントマスターロービジョンケア外来ノート」に付属）

（総評）

支えられる側であった視覚障害者が、サンキューカードを配布することで視機能に不安や障害を持つ人を掘り起こし、情報を伝えるといった新たな役割を担うことになりました。また、カードを配布された一般の方にとっては、視覚障害者への声のかけ方や手引きの仕方を知る機会となり、社会貢献の一助となる可能性が生まれたと考えます。

また、本事業については、2022年7月15日（金）～17日（日）に開催された視覚障害リハビリテーション研究発表大会（名古屋市）にて活動報告を行いました。

3) 匠の時間（たくみのとき）

あん摩マッサージ指圧の啓発とその技能の発展を目的として、ビジョンパークにおいて一枝のゆめ財団が過去2回行ったコンテストの優勝者および入賞者を招待し、一般参加者に対しての施術を行うとともに、藤井亮輔氏の講演を企画する予定でしたがコロナ禍による接触を避けるため、また、資金的理由で中止となりました。

(5)講演・セミナー事業

1)被災視覚障害者支援・避難所疑似体験セミナー

視覚障害者の防災と視覚障害者の周囲における支援情報を増やすため、ビジョンパークを疑似避難所に見立て、理事の仲泊が2018年度～2020年度のAMED研究で行なった遠隔支援デバイスを使用した避難所体験セミナーでしたが、コロナ禍による接触を避けるため、延期となりました。

2)行間セミナーBasic

「ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート」を所有している人を対象として、出版社の15万円の協賛で、これをテキストとしたwebセミナーを6月から3月までの毎月1回行いました。本テキストを執筆した者を講師として、10分程度の講演3本をzoom及びYouTubeで無料配信しました。毎回80名程度のライブ参加でしたが、YouTubeの延べ閲覧数は、10000回を超えました。

3)行間セミナーAdvanced

「ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート」の執筆者により企画された関連セミナーを行間セミナーBasicに続けて毎回配信しました。また、NEXT VISIONのホームページ特設サイトにて会員限定で動画配信を行いました。ライブ参加は80名程度でしたが、年間5000円の有料にもかかわらず、210名の会員を得ることができました。

4)ロービジョン支援ホームページの運用

NEXT VISIONのサーバー上に移設したロービジョンケアの用語説明と施設リンクを目的としたホームページ(<https://www.shikakuriha.net>)の改修を行い、NEXT VISIONのホームページからも入れるようにしました。また、3月に行なった行間セミナーでその使用法について解説しました。2022年3月までに21949件(2021年3月までに19800件)のアクセスがありました。

5)日本眼科医会連携

地方においては視覚障害者が最初に受診する可能性が高いのは地域の眼科クリニックであり、全国の眼科クリニックの開業医が所属する日本眼科医会と連携しました。iseel運動での眼科医賞の追加や日本眼科医会のHPと連携などを通して開業医の眼科医への情報発信を強める予定です。

6)視覚障害者体験VR研修

視覚障害者が周囲の人に自分が視覚障害者であり困難さを的確に伝えられない背景には、視覚障害の種類や困難さの多様性を周囲のメンバーが認識しにくい背景があります。VRを利用した教育コンテンツでは1人称で困難さを理解することができるため、支援者教育の強力なコンテンツとなり得るため、VRコンテンツの開発の指導を行い、教育ソフトを開発しました。今後リアルな研修が開催できる時期がきたら、研修コンテンツとして導入予定です。

(6)支援者向け体験事業

1)パッチ・アダムス招致企画 夢の病院からビジョンパークができるまで

豊かに生きるための知識と習慣の処方箋として、人生100年時代を人が健やかに生きるため、心と体がウェルビーイング(ご機嫌)になるための考え方や行動習慣などをウェルビーイングを実践する専門家に学び、対話を通して学ぶイベントを実施しました。

(プレ・マンスリーイベント開催日と出演者)

2021/9/18(土) 山元加津子さん(作家・映画監督)

2021/10/16(土) パッチ・アダムスさん(医師)

2021/11/20(土) 高橋政代さん

(株式会社ビジョンケア代表取締役社長・眼科医)

2021/12/15(水) 加藤忠相さん(株式会社あおいけあ 代表取締役社長)

2022/1/22(土) 金本麻理子さん

(株式会社OFFICE NEXT代表、Clown one Japan代表)

2022/2/26(土) 三宅 琢さん

(株式会社Studio Gift Hands代表取締役、医師)

2022/3/13(日) 福本理恵さん(株式会社SPACE 代表)

参加人数：435人/全7回

(本イベント開催日と内容)

2022年3月20日(日)

9:00-12:00 “I Love Me”からはじめよう! パッチ・アダムスさん

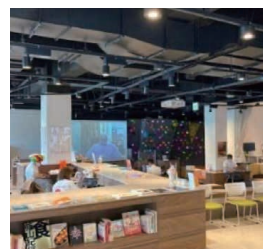
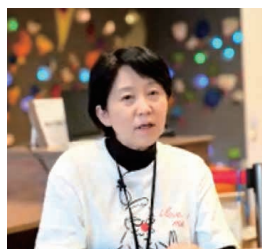
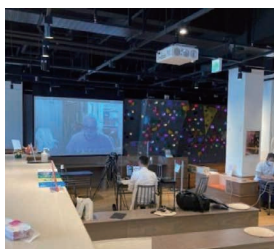
13:00-15:00 自立を育てる教育と未来医療のあり方

工藤勇一さん(横浜創英中学・高等学校校長)

高橋政代さん(株式会社ビジョンケア代表取締役社長・眼科医)

15:30-16:30 グループトーク

参加人数：162人 ※動画は限定公開





(総評)

教育、医療、介護の分野を超えた実践家たちとの対話を通じて多面的な観点によるウェルビーイングの解釈と言語化を実現することができ、今後NEXT VISIONが進むべき方向性と具体的なアクションプランを明確に描くことができました。

また、本イベントを通じてつながった有識者たちと強い絆が生まれたことで、今後協業が可能となり情報障害者をゼロにする世界とSDGsを実現した社会の実現にむけたNEXT VISIONとしての効果指標を考える上での多くの知見を得ることができました。

次年度以降も、パッチ・アダムスの哲学にケアの本質と対話法を学ぶオンライン形式でのワークショップを開催し、支援マインドの向上、対話スキルの向上、さらにはNEXT VISIONの認知向上を目指します。

2)TEAM EXPO2025 共創チャレンジ企画

Navilensによるスーパーシティ化大作戦

ナビレンスやコード化点字ブロック、shikAIなど主に点字ブロックに情報を付加する二次元コード設置の検討(実証実験)と普及する活動を開始しました。

これらの二次元コードは白杖および点字ブロックと併用することで安全、便利に使用でき、視覚に障害のある方だけでなく誰もが利用可能なルート案内等の情報提供が可能で、二次元コードの総称をナビゲーション・タグ(通称ナビ・タグ)と呼び、2025大阪・関西万博での運用を目指しています。

そこで、TEAM EXPO2025 共創チャレンジにプロジェクト名「ナビゲーション・タグ(ナビ・タグ)で未来を変えるプロジェクト」で登録しました。
<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/175>

現在、10機関・団体、24名のメンバーがチームOTAGAISAMA(おたがいさま)として活動しています。

2021年度はナビ・タグ評価(属性ごとの使いやすさ、課題抽出など)を行うため、ナビ・タグの敷設を行いました。

ナビ・タグ評価のための実証実験は神戸アイセンターのほか、ポートライナー・三宮駅と医療センター駅、神戸市営地下鉄などでも実施しました。

また、2021年11月13日(土)に神戸青少年科学館で開催されたサイエンス・フェスティバルではナビ・タグを使用したスタンプラリーを開催し、一般市民へのナビ・タグの周知啓発活動を行いました。



(総評)

2021年度はナビ・タグを神戸市内30か所に敷設することを目標にしていたがナビレンスを神戸アイセンター内に40枚、ポートライナー・三宮駅と医療センター駅や神戸市営地下鉄など計80枚を敷設でき、目標を達成することができました。

しかし、コード化点字ブロック、shikAIがまだ敷設できていないので2022年度前半に敷設し、実証実験を継続する予定です。また、並行してナビ・タグ設置ガイドライン作成し、課題の抽出と解決に取り組みます。

同時に、まだ一般的に知られていないナビ・タグを周知し、視覚に障害のある方だけでなく、一般市民にも実際に使ってもらって便利さを実感していただけるように普及を進めたいと思います。

大阪・関西万博(2025年4月13日～10月13日)での実装を目指していますが、それが最終ゴールではなく、社会インフラとして神戸市をはじめ、日本国内に定着するよう、助成金や補助金を取得しながら活動を継続します。

3. 収益事業

(1) ビジョンパークを活かした情報発信

本事業は新型コロナ感染拡大対策のため行うことができませんでした。
今後も状況をみながらの実施になる予定です。

(2) みんなで作るビジョンパーク会議

寄附者、賛助会員、連携協力機関の方への活動報告と意見交換会を
オンラインで実施しました。

2020/12/12 大感謝祭2021 参加人数：42名

(内容) 活動報告(報告書・記念品を送付)

グループトーク(参加者による交流・意見交換会)

(総評)

寄附者、サポーター、賛助会員にNEXT VISIONで実施している事業、活動内
容を報告すると共に、支援者が「自分事」として活動に参加していただけるよう、
グループトークを通じた情報交換ができました。

今後もNEXT VISIONの活動やビジョンパークの役割を理解し、支援をいた
だけるよう情報を発信し続けることで法人の運営を安定させ、より多くの視覚
に障害のある方と情報を必要とする方への支援活動を行いたいと思います。

4. 法人運営

1. 理事会

第19回 令和3年6月4日

議題

1. 令和2年度の事業報告及び計算書類の承認
2. 社員総会の招集と議案等の承認
3. 若宮正子氏理事就任の承認
4. 竹中ナミ氏理事就任の承認
5. 原田敦史氏理事就任の承認
6. 理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第20回 令和4年3月6日

議題

1. 令和4年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込
を記載した書類の承認
2. 社員総会の招集と議案等の承認
3. 職務の執行状況について報告
4. 中邑理事の辞任について報告

2. 社員総会

第17回 令和3年6月20日

議題

1. 令和2年度の事業報告及び計算書類の承認
2. 社員総会の招集と議案等の承認
3. 若宮正子氏理事就任の承認
4. 竹中ナミ氏理事就任の承認
5. 原田敦史氏理事就任の承認
6. 理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第18回 令和4年3月6日

議題

1. 令和4年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認
2. 中邑理事の辞任について承認

令和3年度 決算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

公益社団法人NEXT VISION

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	184,596	68,393	116,203
未収金	6,750,000	5,500,000	1,250,000
貯蔵品	10,000	100,000	△ 90,000
前払費用	0	7,697,374	△ 7,697,374
流動資産合計	6,944,596	13,365,767	△ 6,421,171
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益事業目的積立資産	59,629,945	80,662,540	△ 21,032,595
法人管理目的積立資産	94,969,447	81,306,927	13,662,520
特定資産合計	154,599,392	161,969,467	△ 7,370,075
(2) その他固定資産			
建物付属設備	246,375	295,650	△ 49,275
什器備品	6,254,044	7,239,609	△ 985,565
ソフトウェア	405,000	599,400	△ 194,400
その他固定資産合計	6,905,419	8,134,659	△ 1,229,240
固定資産合計	161,504,811	170,104,126	△ 8,599,315
資産合計	168,449,407	183,469,893	△ 15,020,486
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	51,700	286,061	△ 234,361
前受金	4,039,000	183,000	3,856,000
預り金	205,505	175,738	29,767
短期借入金	111,700	111,700	0
未払法人税等	72,000	72,000	0
流動負債合計	4,479,905	828,499	3,651,406
負債合計	4,479,905	828,499	3,651,406
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	153,398,230	171,870,223	△ 18,471,993
指定正味財産合計	153,398,230	171,870,223	△ 18,471,993
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	(153,398,230)	(161,969,467)	8,571,237
2. 一般正味財産			
一般正味財産	10,571,272	10,771,171	△ 199,899
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	(1,201,162)	0	1,201,162
一般正味財産合計	10,571,272	10,771,171	△ 199,899
正味財産合計	163,969,502	182,641,394	△ 18,671,892
負債及び正味財産合計	168,449,407	183,469,893	△ 15,020,486

正味財産増減計算書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月31日まで

公益社団法人 NEXT VISION

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	12,091,700	12,321,550	△ 229,850
事業収益	12,091,700	12,321,550	△ 229,850
受取補助金等	5,778,850	10,083,947	△ 4,305,097
受取地方公共団体助成金	1,250,000		1,250,000
受取補助金等振替額	4,528,850	10,083,947	△ 5,555,097
受取寄付金	39,615,693	23,579,931	16,035,762
受取協賛金	3,630,000	3,630,000	0
受取寄付金振替額	35,985,693	19,949,931	16,035,762
雑収益	4	285,974	△ 285,970
受取利息	4	424	△ 420
雑収益	0	285,550	△ 285,550
経常収益計	57,486,247	46,271,402	11,214,845
(2) 経常費用			
事業費	51,928,214	42,672,746	9,255,468
役員報酬	2,160,000	2,160,000	0
給料手当	17,789,390	13,112,564	4,676,826
福利厚生費	47,664	24,904	22,760
法定福利費	2,582,638	1,818,608	764,030
会議費	9,720	57,088	△ 47,368
旅費交通費	1,701,063	993,306	707,757
通信運搬費	1,140,636	368,558	772,078
減価償却費	1,747,753	2,372,543	△ 624,790
消耗什器備品費	81,882	1,652,306	△ 1,570,424
消耗品費	447,108	140,745	306,363
印刷製本費	397,670	2,127,598	△ 1,729,928
地代家賃	16,462,442	12,262,661	4,199,781
光熱水料費	561,779	542,765	19,014
賃借料	479,768	702,242	△ 222,474
保険料	222,688	241,966	△ 19,278
諸謝金	1,592,843	679,642	913,201
租税公課	120,555	193,230	△ 72,675
支払手数料	133,028	183,778	△ 50,750
委託費	1,365,360	433,200	932,160
雑費	325,567	20,022	305,545
諸会費	100,574	68,800	31,774
支払報酬	2,458,086	2,516,220	△ 58,134
管理費	5,685,932	4,035,317	1,650,615
役員報酬	240,000	240,000	0
給料手当	1,976,598	1,456,950	519,648
福利厚生費	5,297	2,766	2,531
法定福利費	286,960	202,067	84,893
会議費	0	6,344	△ 6,344
旅費交通費	124,002	86,394	37,608
通信運搬費	39,679	40,950	△ 1,271
減価償却費	91,987	124,870	△ 32,883
消耗品費	508,419	674,388	△ 165,969
消耗什器備品費	9,099		9,099
印刷製本費	23,441	15,672	7,769
地代家賃	1,829,161	645,403	1,183,758
光熱水料費	29,567	28,567	1,000
賃借料	47,563	41,361	6,202
保険料	24,742	26,884	△ 2,142
諸謝金	49,500	39,600	9,900
租税公課	6,345	10,170	△ 3,825
支払手数料	12,768	12,792	△ 24
委託費	9,672		9,672
雑費	33,836	2,059	31,777
交際費	53,000	91,300	△ 38,300
諸会費	11,175	7,200	3,975
支払報酬	273,121	279,580	△ 6,459
経常費用計	57,614,146	46,708,063	10,906,083
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 127,899	△ 436,661	308,762
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 127,899	△ 436,661	308,762
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 127,899	△ 436,661	308,762
法人税等	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 199,899	△ 508,661	308,762
一般正味財産期首残高	10,771,171	11,279,832	△ 508,661
一般正味財産期末残高	10,571,272	10,771,171	△ 199,899
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	4,528,850	12,932,400	△ 8,403,550
受取地方公共団体補助金	4,528,850	7,262,400	△ 2,733,550
受取民間助成金		5,670,000	△ 5,670,000
受取寄付金	17,513,700	14,980,795	2,532,905
受取寄付金	17,513,700	14,980,795	2,532,905
一般正味財産への振替額	△ 40,514,543	△ 30,033,878	△ 10,480,665
地方公共団体補助金	△ 4,528,850	△ 7,262,400	△ 2,733,550
民間助成金		△ 2,821,547	△ 2,821,547
寄付金	△ 35,985,693	△ 19,949,931	△ 16,035,762
当期指定正味財産増減額	△ 18,471,993	△ 2,120,683	△ 16,351,310
指定正味財産期首残高	171,870,223	173,990,906	△ 2,120,683
指定正味財産期末残高	153,398,230	171,870,223	△ 18,471,993
III 正味財産期末残高	163,969,502	182,641,394	△ 18,671,892

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人 NEXT VISION

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計	法人会計	合計
	公1 (直接支援)	公2 (間接支援)	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益	11,000,000	1,091,700	12,091,700	0	0	12,091,700
事業収益	11,000,000	1,091,700	12,091,700	0	0	12,091,700
受取補助金等	2,264,425	3,514,425	5,778,850	0	0	5,778,850
受取地方公共団体助成金		1,250,000	1,250,000	0	0	1,250,000
受取補助金等振替額	2,264,425	2,264,425	4,528,850	0	0	4,528,850
受取寄付金	12,577,378	19,212,296	31,789,674	0	7,826,019	39,615,693
受取協賛金	907,500	907,500	1,815,000	0	1,815,000	3,630,000
受取寄付金振替額	11,669,878	18,304,796	29,974,674	0	6,011,019	35,985,693
雑収益	0	0	0	0	4	4
受取利息	0	0	0	0	4	4
雑収益	0	0	0	0	0	0
経常収益計	25,841,803	23,818,421	49,660,224	0	7,826,023	57,486,247
(2) 経常費用						
事業費	25,841,803	25,958,512	51,800,315	127,899		51,928,214
役員報酬	1,080,000	1,080,000	2,160,000	0		2,160,000
給料手当	8,894,695	8,894,695	17,789,390	0		17,789,390
福利厚生費	23,832	23,832	47,664	0		47,664
法定福利費	1,291,319	1,291,319	2,582,638	0		2,582,638
会議費	0	9,720	9,720	0		9,720
旅費交通費	809,929	891,134	1,701,063	0		1,701,063
通信運搬費	961,088	179,548	1,140,636	0		1,140,636
減価償却費	827,883	827,883	1,655,766	91,987		1,747,753
消耗什器備品費	40,941	40,941	81,882	0		81,882
消耗品費	398,708	48,400	447,108	0		447,108
印刷製本費	105,489	292,181	397,670	0		397,670
地代家賃	8,231,221	8,231,221	16,462,442	0		16,462,442
光熱水料費	266,106	266,106	532,212	29,567		561,779
賃借料	214,034	265,734	479,768	0		479,768
保険料	111,344	111,344	222,688	0		222,688
諸謝金	882,582	710,261	1,592,843	0		1,592,843
租税公課	57,105	57,105	114,210	6,345		120,555
支払手数料	71,057	61,971	133,028	0		133,028
委託費	121,840	1,243,520	1,365,360	0		1,365,360
雑費	173,300	152,267	325,567	0		325,567
諸会費	50,287	50,287	100,574	0		100,574
支払報酬	1,229,043	1,229,043	2,458,086	0		2,458,086
管理費					5,685,932	5,685,932
役員報酬					240,000	240,000
給料手当					1,976,598	1,976,598
福利厚生費					5,297	5,297
法定福利費					286,960	286,960
会議費					0	0
旅費交通費					124,002	124,002
通信運搬費					39,679	39,679
減価償却費					91,987	91,987
消耗品費					508,419	508,419
消耗什器備品費					9,099	9,099
印刷製本費					23,441	23,441
地代家賃					1,829,161	1,829,161
光熱水料費					29,567	29,567
賃借料					47,563	47,563
保険料					24,742	24,742
諸謝金					49,500	49,500
租税公課					6,345	6,345
支払手数料					12,768	12,768
委託費					9,672	9,672
雑費					33,836	33,836
交際費					53,000	53,000
諸会費					11,175	11,175
支払報酬					273,121	273,121
経常費用計	25,841,803	25,958,512	51,800,315	127,899	5,685,932	57,614,146
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 2,140,091	△ 2,140,091	△ 127,899	2,140,091	△ 127,899
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	△ 2,140,091	△ 2,140,091	△ 127,899	2,140,091	△ 127,899
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	△ 2,140,091	△ 2,140,091	△ 127,899	2,140,091	△ 127,899
他会計振替額		2,140,091	2,140,091		△ 2,140,091	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 127,899	0	△ 127,899
法人税等			0	72,000		72,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 199,899	0	△ 199,899
一般正味財産期首残高	0	0	0	△ 1,084,931	11,856,102	10,771,171
一般正味財産期末残高	0	0	0	△ 1,284,830	11,856,102	10,571,272
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	2,264,425	2,264,425	4,528,850	0	0	4,528,850
受取地方公共団体補助金	2,264,425	2,264,425	4,528,850	0	0	4,528,850
受取寄付金	4,456,269	4,485,810	8,942,079	0	8,571,621	17,513,700
受取寄付金	4,456,269	4,485,810	8,942,079	0	8,571,621	17,513,700
一般正味財産への振替額	△ 13,934,303	△ 20,569,221	△ 34,503,524	0	△ 6,011,019	△ 40,514,543
地方公共団体補助金	△ 2,264,425	△ 2,264,425	△ 4,528,850	0	0	△ 4,528,850
受取寄付金	△ 11,669,878	△ 18,304,796	△ 29,974,674	0	△ 6,011,019	△ 35,985,693
当期指定正味財産増減額	△ 7,213,609	△ 13,818,986	△ 21,032,595	0	2,560,602	△ 18,471,993
指定正味財産期首残高	66,843,554	13,818,986	80,662,540	0	91,207,683	171,870,223
指定正味財産期末残高	59,629,945	0	59,629,945	0	93,768,285	153,398,230
III 正味財産期末残高	59,629,945	0	59,629,945	△ 1,284,830	105,624,387	163,969,502

Message

NEXT VISIONは多くの方に支えられ、つながり、活動の輪が広がっています。みなさまからいただいた応援メッセージをご紹介します。

※五十音順

毎度、ご支援を頂きまして有難うございます。助かってます。ネクストビジョンは1年前に眼科医の勧めで知りました。それ以後、開催するセミナーは、ほとんどオンラインズームで参加しています。視覚障害者の多岐に渡る生活支援セミナーで参考になります。今後も期待しています。宜しくお願い申し上げます。
(飯野初生さん、60代、関東在住)

ネクストビジョンが運営するビジョンパークを初めて訪問した日のボルダリング体験で、重度の視覚障害があってもしっかりと指導を受ければいろいろなことができるのだと気づき、積極的にプログラムに参加するようになって4年が経ちました。そして私がいちばんありがたかったのは、画面を全く見ることができなくても、指のジェスチャーと音声だけでiPhoneを自由に操作するブラインドタッチを丁寧に指導していただけたことです。そして、コロナでビジョンパークが閉鎖されている間、80歳の私が自宅で誰の助けも借りることなしに、リモート会議に参加できるまでに鍛えられました。ビジョンパークが再開したら私はボルダリングをまた始めます。

(みちびクライミングとiPhone・iPad活用ラウンジに参加、
伊藤幸太郎さん、80代、近畿在住)

ビジョンパークオープンの時よりJRPSのピアサポートを担当しています。そのためにピアサポートの基本から学び、多くの仲間と語り合ってきました。アイセンターには日本中から網膜色素変性症の患者さんが来られます。その方たちとお話をして、各地の協会を紹介するとそこから繋がりが広がっていく事を何度も経験しました。兵庫の交流会にも参加して涙ながらに話す方が笑顔になるのを見るととてもうれしくなります。ピアサポートは自分自身も元気になるものと実感しました。2017年に神戸アイセンターが開設し、その2階フロアにビジョンパークがオープンして5年。ここは多くの視覚支援情報・物・人が集まってくるところです。どんどん進化する便利グッズで私たち視覚障害者の生活もどんどん進化しています。常に新しい何かを発信してくれるビジョンパークのおかげで私たちも新しい物に出会うことができ、日々の生活が豊かになっています。これからも楽しいことにトライさせてください。

(伊藤節代さん、60代、近畿在住)

待ち時間が長いほど楽しくなる、それがビジョンパーク。見える見えない見えにくい、みんな得意も苦手もある、そんなおたがいさまを感じあえる空間、それがビジョンパーク。パークの誰かに声をかければきっと気になる新たな扉の鍵に会えるはず。（ロービジョンの集いに参加、石川佳子さん）

5年前、家族の目が見えにくくなりました。元々よく見えていた方の目だったので、両方の目が見えにくくなってしまったのです。視覚障害は治療できるものではなかったので、受け入れること、前を向いてこれからの生き方を考えることが必要でした。たまたま視覚障害の友人がいたので、いろいろなことを話しているうちに心の整理がついてきた記憶があります。そのいろいろなことの中の一つとして教えていただいたのが、神戸アイセンターでした。最先端の研究・治療に携わるだけでなく、困っている患者さんに優しく寄り添う場所だと知り、将来、治療が可能になる日が来ることを信じて、私たちと同じように治療を待っている人たちのために、寄付を始めました。幸い、どんどん悪化することはなく、見えにくいながらも状態をキープできています。ふるさと納税をした後に送付される報告書で、ニュース、研究の成果や治療の実績、さまざまな活動の様子を知ることが、とても支えになっています。これらの情報は、視覚障害の友人にもお知らせしています。また、体幹トレーニングのイベントにもできるだけ参加させていただき、家族皆でリフレッシュさせていただいています。（かおるさん）

アイフォンで、ゆっくりもじがかけるようになってきました。こんごのかつどうに、クロマティックハーモニカのえんそうやこと、しゃみせんなど、いろんながっきえんそうをとりいれてもらいたいです。

（iPhone・iPad活用ラウンジに参加、かわかみゆうこさん）

私は全盲ですが、ロービジョンの問題点や対策など、お教えいただけるので情報の幅が広がります。医療の最先端、またこれからの方向など、幅広く聞くことが出来、嬉しく思います。家にいながら、適度な運動と、方法など指導いただけて、健康に過ごしています。私の知らないスマホの操作や、便利な操作など、いろいろご指導いただけるので楽しみにしております。

（ロービジョンの集い、NEXT VISIONセミナー、体幹トレーニング、iPhone・iPad活用ラウンジに参加。かわさきさん、70代、東北在住）

これからもみんなの不安解消や手助けの情報発信に期待しています！

（ロービジョンの集いに参加、川田さん）

私は認定NPO法人タートルというところで、視覚障害者の就労支援に携わっています。視力が低下して仕事に支障が出てきた人から様々な相談を受けています。NEXT VISIONで開催される多彩なセミナーは、相談対応に欠かせない必須の情報のインプットに大いに役立っています。NEXT VISIONで開催されるイベントは、ほとんどがあとで動画で見れる（聴ける）ようになっているので、その情報を相談してきた視覚障害当事者に提供して喜ばれたことも多々あります。今後もタイムリーなイベントや行間セミナーのような自己啓発に役立つイベントの開催をよろしくお願いします！

（行間セミナーに参加、熊懷 敬さん、70代、関東在住）

いつも貴重な情報をいただきありがとうございます。講師の先生方やスタッフの皆様の知識の豊富さと技術の高さに驚いています。これからもいろいろな情報をご紹介します。

（iPhone・iPad活用ラウンジに参加、しょうちゃんさん、近畿在住）

視覚障害者としての私は、時に、孤独感、疎外感を感じることがあります。こんな時、ネクストビジョンからの情報を拝読すると、私の困っていること、不安なこと、必要な情報が多く提供されていることに気づきます。視覚障害者としての自分の「存在」を認めてもらえている思いがして、孤独感や疎外感から解放される安堵感を覚えます。また、前回のワーキングアワードでは、就労体験についての私からの投稿を取り上げていただけて私の経験でも視覚障害者の皆さんにお役に立ててうれしく思いました。今度はアイディア部門に投稿したいと思います。

（isee! “Working Awards”に参加、杉田啓之さん、60代、関東在住）

新しい時代の新しい試み。それが「視覚障害」というキーワードで展開されている。

当事者にとっては心弾む取り組みです。これからもいろいろなイベントに参加させていただきます。

（タマリンドさん）

私は20代前半、社会人になる直前に全盲となった中途視覚障害者です。幸い社会の変化と周囲の支えで、今仕事ができています。isee! “Working Awards”では、様々なお仕事でがんばっておられる視覚障害者のみなさまの話を聴かせていただきました。お一人お一人の話に感銘を受け、またがんばろうと元気をいただきました。視覚障害者のさらなる社会復帰を促進していくisee!運動が、これからも続くことを応援しています。

（isee! “Working Awards”に参加、ドクターウエストさん、40代、近畿在住）

いつも貴重な情報ありがとうございます。障害を持ちながら社会貢献や活動されている方の講演に勇気をいただきました。アイホンは視覚障害者には必須アイテムです。詳しく丁寧に教えていただき感謝しています。

（ふるさと赤トンボさん）

いつも勉強させてもらっています。大変ためになっております。今後も応援しています。

（行間セミナーに参加、breadさん）

いろいろな人の交流拠点、医療現場での相談拠点としての役割がとても素晴らしいです。コロナ禍で対面での相談が従来のようにできないのが少し残念ですが、また賑やかな日がよみがえるといいですね。

（森 一成さん）

iPhoneやiPadの活用法、アプリの紹介が助かります。Be My Eyes入れました。

（iPhone・iPad活用ラウンジに参加、ゆたんぽさん）

ずっとわからなかった謎が少し解けてよかったです。光明が差したような気がしました。

そして、一筋の光明どころか日の当たる場所に出られました。今は日の当たる場所だけではなく、大海に漕ぎ出して、どんな世界にでも行けそうな気分です！

（テクノロジー支援を受けて、和田由希子さん、四国在住）

2023年、さらに次のステージへ



高橋 政代

公益社団法人NEXT VISION 理事
株式会社ビジョンケア代表取締役社長

いつもNEXT VISIONの活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

早いもので、NEXT VISIONは神戸アイセンターで活動を始めてまる5年となりました。これも偏にみなさまのご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、これまでも一年ごとに進化を感じてきましたが6年目を迎える今、私たちはさらに大きな転換期を迎えています。

私が軸足を置く研究と治療開発は主軸が会社に移りましたが、改めてここで計画通り順調に進んでいることをお伝えしたいと思います。そして、さらに同時進行で、完成した治療を患者さんお一人お一人に適した形で受けていただけるように新しい医療の仕組みの検討を始めています。先進医療、治験、自由診療、グローバル治験、オンライン診療など患者さんにとって最適な治療を選択できるよう、さまざまな視点から医療そのものを見直して組み立てていく段階です。

そして、もう一方の足を置くロービジョンケアは医療と切り離せない存在で、これまでもその重要性をお伝えしてきましたが、一般的な受け身のケアからみなさんお一人お一人がしたいこと、好きなことを選択・決定する能動的でより自律的なものへと変化しています。みなさんが楽しんでいることや取り組んでいることをVision Parkを通じて共有し、私を含めてみなさんの気づきや学びにつながることを楽しみにしています。これは神戸アイセンターで私が目指す人（患者）中心主義であり、NEXT VISIONがみなさんのWell-being（自分らしく日々を楽しむ）向上のお手伝いをできるように努力していきたいと思っています。

NEXT VISIONは病気や障害のあるなし、年齢や性別、国籍も関係なく、すべての方が安心して笑顔で暮らせる社会を目指す活動を続け、さらに神戸だけではなく広げていく活動も開始いたします。これまで通り、時には軸足を入れ替えながらも地に足をしっかりつけてCureとCareに必要なだと考えるあらゆることを取り入れ、みなさんと一緒に次のステージに向かって歩んでいきたいと思っています。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

memo

memo



黒田富紀子「いろいろな世界」
油彩 2017年